

適応症の比較

アリピプラゾール内用液 3mg分包/6mg分包/12mg分包「サワイ」

効能・効果が先発品と一部異なります

先発品と同一の効能・効果

- ・統合失調症
- ・双極性障害における躁症状の改善

先発品のみが有する効能・効果

- ・うつ病・うつ状態(既存治療で十分な効果が認められない場合に限る)
- ・小児期の自閉スペクトラム症に伴う易刺激性

用法・用量が先発品と一部異なります

先発品と同一の用法・用量

- ・統合失調症
通常、成人にはアリピプラゾールとして1日6～12mgを開始用量、1日6～24mgを維持用量とし、1回又は2回に分けて経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、1日量は30mgを超えないこと。
- ・双極性障害における躁症状の改善
通常、成人にはアリピプラゾールとして12～24mgを1日1回経口投与する。なお、開始用量は24mgとし、年齢、症状により適宜増減するが、1日量は30mgを超えないこと。

先発品のみが有する用法・用量

- ・うつ病・うつ状態(既存治療で十分な効果が認められない場合に限る)
通常、成人にはアリピプラゾールとして3mg(3mL)を1日1回経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、増量幅は1日量として3mg(3mL)とし、1日量は15mg(15mL)を超えないこと。
- ・小児期の自閉スペクトラム症に伴う易刺激性
通常、アリピプラゾールとして1日1mg(1mL)を開始用量、1日1～15mg(1～15mL)を維持用量とし、1日1回経口投与する。なお、症状により適宜増減するが、増量幅は1日量として最大3mg(3mL)とし、1日量は15mg(15mL)を超えないこと。